



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社 ピエトロ

上場取引所 東

コード番号 2818 URL <https://www.pietro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 泰行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・IR部長 (氏名) 森山 勇二

TEL 092-724-4925

定時株主総会開催予定日 2021年6月24日

配当支払開始予定日

2021年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け・決算説明動画(録画)配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	9,869	3.4	585	20.3	575	20.5	320	44.8
2020年3月期	9,548	1.4	486	9.7	477	10.1	221	23.2

(注) 包括利益 2021年3月期 320百万円 (76.2%) 2020年3月期 181百万円 (38.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	52.44		5.8	6.3	5.9
2020年3月期	36.35		4.1	5.4	5.1

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	9,399	5,642	60.0	921.67
2020年3月期	8,886	5,412	60.9	887.46

(参考) 自己資本 2021年3月期 5,642百万円 2020年3月期 5,412百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	639	565	221	1,913
2020年3月期	524	281	307	1,618

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		21.00	21.00	128	57.8	2.4
2021年3月期		0.00		23.00	23.00	140	43.9	2.5
2022年3月期(予想)		0.00		24.00	24.00		38.7	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,860	3.5	650	11.0	630	9.5	380	18.5	62.07

(注) 2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用し、上記の連結業績予想は適用後の金額としております。

また、対前期増減率については2021年3月期に当該会計基準を適用したと仮定して算出した増減率を記載しております。

なお、当該会計基準を適用しない場合の売上高は、10,120百万円(対前期増減率2.5%)の予想です。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	6,257,230 株	2020年3月期	6,257,230 株
期末自己株式数	2021年3月期	135,352 株	2020年3月期	158,691 株
期中平均株式数	2021年3月期	6,112,901 株	2020年3月期	6,089,444 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	9,694	4.0	613	18.6	603	18.7	373	39.5
2020年3月期	9,322	1.2	517	7.6	507	7.9	267	35.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	61.09	
2020年3月期	43.95	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	9,402		5,638		60.0		920.98	
2020年3月期	8,763		5,353		61.1		877.85	

(参考) 自己資本 2021年3月期 5,638百万円 2020年3月期 5,353百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 経営成績等の概況(1)当期の経営成績の概況 2 今後の見通し」を参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績・財政状態の概況	2
(2) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	14
(重要な会計上の見積り)	15
(セグメント情報)	16
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
4. 個別財務諸表及び主な注記	20
(1) 貸借対照表	20
(2) 損益計算書	22
(3) 株主資本等変動計算書	23
(4) 個別財務諸表に関する注記事項	25
(継続企業の前提に関する注記)	25
(重要な会計上の見積り)	25
5. その他	25
役員の異動	25

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績・財政状態の概況

①当期の経営成績

当連結会計年度（2020年4月1日から2021年3月31日）におけるわが国経済は、世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外の経済活動が強く制限される等、非常に厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後は一時的に個人消費の回復の兆しもみられたものの、感染の再拡大が生じており、依然として先行き不透明な状態が続いております。

食品業界では家庭での内食需要の高まりが見込まれる一方、外食業界におきましては、外出自粛による影響が大きく、引き続き経営環境は厳しいものとなりました。

このような状況のもと、当社グループは、変化する市場環境に柔軟に対応できるよう、ブランド力と商品開発力の強みを活かし、他社には真似できない商品づくりを行うことにより、さらなるブランド価値向上に努めてまいりました。

食品事業では商品価値訴求を目指す売り方改革や、パスタ関連商品の更なる店頭化拡大等の取り組みを行いました。レストラン事業では感染防止対策を徹底し、各種施策に取り組んでまいりましたが、時短営業や外出自粛による来客数の減少により、厳しい結果となりました。このような状況でありましたが、巣ごもり需要の高まりが追い風となった食品事業が好調だったことにより、増収増益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は98億69百万円（前期比3.4%増）、営業利益は5億85百万円（前期比20.3%増）、経常利益は5億75百万円（前期比20.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は3億20百万円（前期比44.8%増）となりました。

*参考（四半期別前年同期対比表）

単位：百万円

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
売上高	金額	2,653	2,441	2,507	2,266	9,869
	前期比	9.8%増	3.1%増	1.9%増	1.5%減	3.4%増
営業利益	金額	111	116	216	140	585
	前期比	20.5%減	58.7%増	55.5%増	5.2%増	20.3%増
経常利益	金額	110	112	214	138	575
	前期比	21.2%減	56.8%増	54.8%増	8.4%増	20.5%増

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

【食品事業】

今期の方針である「商品価値訴求を目指す売り方改革」「第二の柱・パスタ関連カテゴリ商品のさらなる成長」「第三の柱・スープカテゴリの育成」のもと商品価値を大切に新たな販売方法の確立を行い、売上、利益拡大を図ってまいりました。

緊急事態宣言解除後におきましても内食需要は一定の高止まり状態にあり、ドレッシング及びパスタ関連カテゴリともに好調に推移しました。特にパスタ関連カテゴリは前期に比べ2倍近くの売上高を確保し、大きく伸ばいたしました。

ボトル入り液状パスタソースの「おうちパスタ」シリーズは、前期からの営業施策の効果及び4月上旬にテレビCMの集中放映を行ったことが奏功し、店頭化拡大につながりました。さらに巣ごもり需要も追い風となり、前年実績を大きく上回りました。また、レトルトパスタソースの「洋麺屋ピエトロ」シリーズは高価格帯でありながら、大好評の「絶望スパゲティ」を中心に好調に売上を伸ばしました。

食材にこだわったプレミアム冷凍パスタや、前期より販売を開始したイタリアのプレミアムブランド「AGNESI（アネージ）」のパスタ麺も着実に店頭化が進みました。

ドレッシングカテゴリでは、商品価値を訴求した販売施策を継続した結果、主力の「和風しょうゆ」をはじめとするドレッシング全体の売上高は前期比105%と上回りました。また一昨年行った価格改定と業務改善により製造原価の削減ができた結果、商品の利益率も向上しました。

育成事業であるスープカテゴリでは、直販店舗や期間限定ショップでの新しい情報発信を行い、販売強化に取り組んでまいりました。ギフト需要やオンライン等での売上が着実に増加しており、徹底したブランディング戦略でさらなる認知度拡大を図ってまいります。

さらに通信販売では、オンライン強化や新しい施策に取り組んだことにより順調に売上を伸ばしました。

以上の結果、セグメント売上高は80億76百万円（前期比16.3%増）、セグメント利益は23億23百万円（前期比26.5%増）となりました。

【レストラン事業】

レストラン事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、特に緊急事態宣言下にあった第1四半期連結会計期間（2020年4月から2020年6月）は、来客数が大幅に減り、売上、利益ともに大きく減少しました。

感染対策といたしまして、新型コロナウイルスの予防を徹底し、お客様と従業員の安全を第一に考え、全従業員へのマスク着用、検温の徹底、ご来店されたお客様にもアルコール除菌のご協力を頂くとともに、テーブルやメニューの消毒等、衛生管理の強化を行ってまいりました。さらに、テーブルの間隔を広げて客数を減らす等、三密防止への取り組みを行いながら、営業を行ってまいりました。

非常に厳しい状況下ではありましたが、高付加価値メニューの訴求を行ったことで客単価アップを図った他、顧客満足度向上のため、店舗休業中を利用してリモート等を活用したスタッフのサービス研修の強化を実施してまいりました。また、さらに需要が高まってきたテイクアウトメニューの拡充やデリバリー、店頭での物販強化も行っていました。

このような取り組みのもと、緊急事態宣言解除後は幾分回復傾向にあり、2020年10月には既存店前期比90%を超える売上に達しましたが、その後、感染の再拡大が生じており、再度、休業や時短要請を受け、予断を許さない状況が続きました。

また、アフターコロナを見据えた取り組みとしては、ディナーメニューを充実させた新業態「PASTA&TAPAS PIETRO 豊洲店」の出店を5月に行いました。さらにフランチャイズ店舗として9月に「洋麺屋ピエトロ千里中央店」、10月に「ピエトロイオンモール広島府中店」の出店を行い、エリア戦略によるピエロブランドの認知向上につなげてまいります。

以上の結果、セグメント売上高は16億26百万円（前期比33.1%減）、セグメント損失は3億29百万円（前期は28百万円の損失）となりました。

<店舗数の増減>

(単位：店舗)

	前期末	増加	減少	当期末
直営店	23 (1)	2 (-)	3 (-)	22 (1)
F C 店	10 (-)	2 (-)	- (-)	12 (-)
合計	33 (1)	4 (-)	3 (-)	34 (1)

(注) () 内は内数であり、海外店舗数であります。

【その他（本社ビル等の賃貸）事業】

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、売上高は1億67百万円（前期比1.0%減）セグメント利益は89百万円（前期比0.2%増）となりました。

②当期の財政状態

当連結会計年度末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて5億13百万円増加し、93億99百万円となりました。これは主に現金及び預金が3億8百万円、売掛金が77百万円、有形固定資産が62百万円、敷金及び保証金が45百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億83百万円増加し、37億57百万円となりました。これは主に長期借入金（1年内を含む）が4億6百万円増加する一方、未払金が1億49百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億30百万円増加し、56億42百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億28百万円及び親会社株主に帰属する当期純利益3億20百万円の計上によるものであります。

③キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

	2020年3月期	2021年3月期	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	524	639	114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△281	△565	△284
財務活動によるキャッシュ・フロー	△307	221	528
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△1	△1
現金及び現金同等物の増減額	△63	294	357
現金及び現金同等物の期末残高	1,618	1,913	294

営業活動によるキャッシュ・フローは、6億39百万円の収入（前期は5億24百万円の収入）となりました。税引前当期純利益が5億4百万円であり、減価償却費が3億44百万円それぞれ計上があったことと、法人税等の支払額1億88百万円があったこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億65百万円の支出（前期は2億81百万円の支出）となりました。有形固定資産の取得による支出6億20百万円、有形固定資産の売却による収入が1億73百万円があったこと等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億21百万円の収入（前期は3億7百万円の支出）となりました。長期借入金による収入が6億11百万円あった一方、長期借入金の返済による支出が2億4百万円、配当金の支払額1億28百万円があったこと等によるものです。

以上の結果、当期連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、19億13百万円となりました。

項 目	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	60.9%	60.0%
時価ベースの自己資本比率	106.4%	119.9%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	2.9年	2.9年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	77.2倍	82.0倍

(注) 1. 各指標の計算は以下により算出しております。

- 自己資本比率 : 自己資本 / 総資産
- 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産
- キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー
- インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー / 利払い

2. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
3. 株式時価総額は、期末終値株価×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
4. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は貸借対照表上に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(2) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症拡大による国内外の経済への影響は大きく、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、食品事業では家庭での内食需要の増加が見込まれる一方、レストラン事業では店舗の休業や営業時間の短縮などの影響が大きく、大変厳しい状況です。

このような状況下ではありますが、食品事業では主力ドレッシングのさらなる定番回転率のアップ、大きく売上が伸長しているパスタ関連カテゴリーの売上を2025年3月期までに30億円を目標に、商品価値を訴求した売り方改革やブランド強化、利益率改善などに取り組んでまいります。

コロナ禍で大きくマイナスの影響を受けたレストラン事業は高付加価値メニューやディナーメニューの強化、ホスピタリティ向上による顧客満足度アップを図り、2023年3月期での黒字化を目指してまいります。

以上の取り組みを実施することにより、次期業績につきましては、売上高は88億60百万円、営業利益は6億50百万円、経常利益は6億30百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3億80百万円を予想しております。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症拡大等の事業環境の変化により、本業績予想は変動する可能性があります。開示すべき事象が生じた際には速やかにお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,692,553	2,000,816
預け金	21,737	32,240
売掛金	1,292,235	1,369,393
商品及び製品	147,713	171,489
仕掛品	3,962	8,205
原材料及び貯蔵品	107,969	116,997
1年内回収予定の敷金及び保証金	43,491	—
その他	124,747	115,257
貸倒引当金	△110	△26
流動資産合計	3,434,300	3,814,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,529,983	4,672,557
減価償却累計額	△2,528,396	△2,614,542
建物及び構築物 (純額)	2,001,587	2,058,015
機械装置及び運搬具	1,080,912	1,207,748
減価償却累計額	△646,453	△720,131
機械装置及び運搬具 (純額)	434,458	487,617
工具、器具及び備品	544,544	547,606
減価償却累計額	△439,612	△454,859
工具、器具及び備品 (純額)	104,932	92,746
土地	2,018,342	2,019,111
リース資産	344,039	346,015
減価償却累計額	△256,708	△278,880
リース資産 (純額)	87,330	67,134
建設仮勘定	27,112	11,174
有形固定資産合計	4,673,763	4,735,799
無形固定資産		
リース資産	118,077	91,260
その他	47,776	37,130
無形固定資産合計	165,854	128,391
投資その他の資産		
投資有価証券	14,490	16,264
繰延税金資産	88,770	91,587
敷金及び保証金	372,479	417,826
保険積立金	91,375	115,977
その他	64,770	99,294
貸倒引当金	△19,760	△19,634
投資その他の資産合計	612,125	721,315
固定資産合計	5,451,744	5,585,506
資産合計	8,886,044	9,399,878

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	407,096	419,742
短期借入金	1,350,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	101,554	172,024
未払金	515,900	366,854
未払法人税等	141,177	134,428
賞与引当金	49,453	58,555
その他	236,704	272,608
流動負債合計	2,801,887	2,774,213
固定負債		
長期借入金	52,818	388,556
リース債務	180,424	138,676
長期預り敷金	93,817	96,890
長期未払金	158,593	158,593
退職給付に係る負債	108,912	123,834
資産除去債務	77,371	76,774
固定負債合計	671,937	983,325
負債合計	3,473,824	3,757,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,042,389	1,042,389
資本剰余金	1,074,635	1,074,635
利益剰余金	3,567,212	3,758,931
自己株式	△263,565	△224,798
株主資本合計	5,420,673	5,651,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,900	△736
為替換算調整勘定	△6,565	△8,083
その他の包括利益累計額合計	△8,466	△8,819
非支配株主持分	13	1
純資産合計	5,412,220	5,642,339
負債純資産合計	8,886,044	9,399,878

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	9,548,272	9,869,715
売上原価	3,782,069	3,995,018
売上総利益	5,766,203	5,874,696
販売費及び一般管理費		
販売促進費	1,376,149	1,397,450
運賃	367,175	459,940
広告宣伝費	241,876	332,805
役員報酬	165,059	156,478
給料及び手当	1,345,131	1,286,061
賞与	43,141	56,557
賞与引当金繰入額	37,578	44,444
退職給付費用	50,842	34,019
役員退職慰労引当金繰入額	7,156	—
福利厚生費	173,836	181,611
水道光熱費	113,137	83,000
減価償却費	120,571	129,761
地代家賃	379,784	341,161
その他	858,008	786,058
販売費及び一般管理費合計	5,279,448	5,289,352
営業利益	486,755	585,344
営業外収益		
受取利息	43	217
受取配当金	1,757	225
貸倒引当金戻入額	419	181
その他	2,024	2,639
営業外収益合計	4,243	3,263
営業外費用		
支払利息	7,149	7,724
シンジケートローン手数料	2,510	2,500
為替差損	3,631	2,528
その他	194	612
営業外費用合計	13,486	13,365
経常利益	477,512	575,242

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	7,079	8,321
投資有価証券売却益	38,290	—
その他	—	225
特別利益合計	45,370	8,546
特別損失		
固定資産除却損	9,921	2,093
減損損失	107,180	17,751
店舗閉鎖損失	—	12,483
感染症関連損失	—	45,238
その他	—	1,765
特別損失合計	117,101	79,331
税金等調整前当期純利益	405,780	504,458
法人税、住民税及び事業税	208,590	186,730
法人税等調整額	△24,127	△2,817
法人税等合計	184,462	183,912
当期純利益	221,317	320,545
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△19	△12
親会社株主に帰属する当期純利益	221,336	320,558

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	221,317	320,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,328	1,164
為替換算調整勘定	△2,310	△1,517
その他の包括利益合計	△39,639	△353
包括利益	181,678	320,192
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	181,697	320,204
非支配株主に係る包括利益	△19	△12

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,042,389	1,074,635	3,474,822	△302,895	5,288,953
当期変動額					
剰余金の配当			△127,572		△127,572
親会社株主に帰属する当期純利益			221,336		221,336
自己株式の取得				△37	△37
自己株式の処分			△1,374	39,367	37,992
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	92,390	39,330	131,720
当期末残高	1,042,389	1,074,635	3,567,212	△263,565	5,420,673

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	35,427	△4,255	31,172	32	5,320,158
当期変動額					
剰余金の配当					△127,572
親会社株主に帰属する当期純利益					221,336
自己株式の取得					△37
自己株式の処分					37,992
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△37,328	△2,310	△39,639	△19	△39,658
当期変動額合計	△37,328	△2,310	△39,639	△19	92,061
当期末残高	△1,900	△6,565	△8,466	13	5,412,220

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,042,389	1,074,635	3,567,212	△263,565	5,420,673
当期変動額					
剰余金の配当			△128,069		△128,069
親会社株主に帰属する当期純利益			320,558		320,558
自己株式の処分			△770	38,766	37,995
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	191,718	38,766	230,484
当期末残高	1,042,389	1,074,635	3,758,931	△224,798	5,651,158

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△1,900	△6,565	△8,466	13	5,412,220
当期変動額					
剰余金の配当					△128,069
親会社株主に帰属する当期純利益					320,558
自己株式の処分					37,995
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,164	△1,517	△353	△12	△365
当期変動額合計	1,164	△1,517	△353	△12	230,118
当期末残高	△736	△8,083	△8,819	1	5,642,339

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	405,780	504,458
減価償却費	311,808	344,243
減損損失	107,180	17,751
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△474	△209
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,749	9,102
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,244	—
株式報酬費用	27,633	37,995
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	32,295	14,921
固定資産売却損益 (△は益)	△7,079	△8,321
固定資産除却損	9,921	2,093
投資有価証券売却損益 (△は益)	△38,290	—
受取利息及び受取配当金	△1,800	△443
支払利息	7,149	7,724
売上債権の増減額 (△は増加)	116,863	△77,982
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△48,071	△37,749
仕入債務の増減額 (△は減少)	△72,161	12,895
未払金の増減額 (△は減少)	△87,703	△47,882
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△42,248	11,942
その他	34,802	37,424
小計	756,111	827,965
法人税等の支払額	△231,404	△188,315
営業活動によるキャッシュ・フロー	524,707	639,649
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,000	△25,000
有形固定資産の取得による支出	△212,315	△620,771
定期預金の払戻による収入	—	601
有形固定資産の売却による収入	13,828	173,292
無形固定資産の取得による支出	△20,070	△2,220
投資有価証券の取得による支出	△600	△604
投資有価証券の売却による収入	76,488	—
敷金及び保証金の差入による支出	△52,058	△57,442
敷金及び保証金の回収による収入	4,126	55,054
貸付けによる支出	△1,250	△50,500
貸付金の回収による収入	93	3,706
長期前払費用の取得による支出	△18,276	△20,499
保険積立金の積立による支出	△24,601	△24,601
長期預り金の受入による収入	11,318	14,491
長期預り金の返還による支出	△9,595	△11,418
利息及び配当金の受取額	1,800	440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△281,112	△565,471

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	611,409
長期借入金の返済による支出	△133,260	△204,887
リース債務の返済による支出	△38,960	△48,795
自己株式の取得による支出	△37	—
配当金の支払額	△127,620	△128,096
利息の支払額	△7,184	△7,804
財務活動によるキャッシュ・フロー	△307,064	221,826
現金及び現金同等物に係る換算差額	32	△1,640
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△63,435	294,363
現金及び現金同等物の期首残高	1,682,125	1,618,689
現金及び現金同等物の期末残高	1,618,689	1,913,053

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の数 2社

主要な連結子会社の名称

ANGELO PIETRO, INC.

合同会社のこべジファーム

(2) 主要な非連結子会社の名称等

非連結子会社はありません。

2. 連結の範囲及び持分法の適用の範囲の変更に関する事項

前連結会計年度において連結子会社でありました(株)ピエトロフレッシュサプライについては、2020年4月1日付で当社に吸収合併したため、連結範囲から除いております。

3. 持分法の適用に関する事項

非連結子会社及び関連会社がないため、該当事項はありません。

4. 連結子会社の事業年度等に関する事項

ANGELO PIETRO, INC. の決算日は、12月31日です。

連結財務諸表の作成にあたっては、当該連結子会社の事業年度に係る財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っています。

5. 会計方針に関する事項

(イ) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの

移動平均法による原価法

② たな卸資産

商品及び製品、仕掛品

総平均法による原価法

原材料

総平均法による原価法

ただし、レストラン事業については最終仕入原価法による原価法

貯蔵品

最終仕入原価法による原価法

なお、貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定しています。

(ロ) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物及び構築物 2年～41年

機械装置及び運搬具 2年～10年

工具、器具及び備品 2年～15年

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法

ただし、ソフトウェアについては社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

(ハ) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

② 賞与引当金

当社及び国内連結子会社は、従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しています。

(ニ) 退職給付に係る会計処理の方法

当社及び連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しています。

(ホ) 重要な外貨建資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しています。

なお、在外子会社の資産及び負債は当該子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均為替相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定に含めて計上しています。

(ヘ) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金（現金及び現金同等物）の範囲

手許現金、要求払預金及び取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなっています。

(ト) その他重要な事項

消費税等の会計処理

税抜き方式を採用しています。

(重要な会計上の見積り)

1. 当連結会計年度

減損損失 17,751千円

2. 会計上の見積りの内容について連結財務諸表利用者の理解に資するその他の情報

レストラン店舗については収益性が継続的に悪化した店舗につき、帳簿価額を回収可能額である使用価値まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

レストラン店舗の収益性低下により減損の兆候があると認められる場合には、資産グループから得られる割引前将来キャッシュ・フローの総額と帳簿価額を比較することによって、減損損失の認識の要否を判定します。

当該レストラン店舗から得られる将来キャッシュ・フローの見積額は、将来の収益性を見積りを主要な仮定として算定しておりますが、将来の収益性には店舗立地環境の変化等による一定の不確実性があるため、今後の経過によっては将来キャッシュ・フローの見積りに重要な影響を及ぼし、翌連結会計年度において追加の減損損失が発生する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は製品、サービス別に事業単位を構成しており、「食品事業」、「レストラン事業」、「その他（本社ビル等の賃貸）事業」の3つを報告セグメントとしています。

「食品事業」はドレッシング、ソース、レトルト等の製造販売を行っています。「レストラン事業」はスパゲティ、ピザ等のレストラン経営、パスタ専門ファストフード店等の経営を行っております。「その他（本社ビル等の賃貸）事業」は本社ビル等の賃貸を行っています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等 の賃貸) 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	6,947,152	2,431,861	169,258	9,548,272	—	9,548,272
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,947,152	2,431,861	169,258	9,548,272	—	9,548,272
セグメント利益又は 損失(△)	1,837,079	△28,405	89,598	1,898,272	△1,411,517	486,755
セグメント資産	3,281,990	986,887	1,744,686	6,013,564	2,872,480	8,886,044
その他の項目						
減価償却費	166,319	60,410	25,707	252,437	59,370	311,808
減損損失	—	107,180	—	107,180	—	107,180
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	155,082	126,254	47,868	329,205	234,470	563,676

(注) 1 (1)セグメント間の内部売上高又は振替高はセグメント間取引のため、消去しています。

(2)セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

(3)セグメント資産のうち調整額に含めた金額は、主に全社資産であり、管理部門に係る資産等です。

(4)減価償却費、減損損失、有形固定資産及び無形固定資産の増加額のうち調整額に含めた金額は、主に管理部門に係るもの等です。

2 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用を含んでいます。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等 の賃貸) 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	8,076,024	1,626,056	167,634	9,869,715	—	9,869,715
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,076,024	1,626,056	167,634	9,869,715	—	9,869,715
セグメント利益又は 損失(△)	2,323,222	△329,253	89,817	2,083,786	△1,498,441	585,344
セグメント資産	3,731,114	1,035,171	1,471,185	6,237,471	3,162,406	9,399,878
その他の項目						
減価償却費	187,211	55,458	26,293	268,963	75,280	344,243
減損損失	11,534	6,216	—	1,751	—	17,751
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	489,963	82,235	—	572,198	3,519	575,717

(注) 1 (1)セグメント間の内部売上高又は振替高はセグメント間取引のため、消去しています。

(2)セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

(3)セグメント資産のうち調整額に含めた金額は、主に全社資産であり、管理部門に係る資産等です。

(4)減価償却費、減損損失、有形固定資産及び無形固定資産の増加額のうち調整額に含めた金額は、主に管理部門に係るもの等です。

2 セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用を含んでいます。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しています。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しています。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
三菱食品株式会社	1,078,651千円	食品事業
加藤産業株式会社	1,065,575千円	食品事業

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しています。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しています。

3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
加藤産業株式会社	1,364,249千円	食品事業
三菱食品株式会社	1,225,713千円	食品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しています。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しています。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	887円46銭	921円67銭
1株当たり当期純利益	36円35銭	52円44銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	221,336	320,558
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	221,336	320,558
普通株式の期中平均株式数 (千株)	6,089	6,112

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	5,412,220	5,642,339
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	13	1
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	5,412,206	5,642,338
1株当たり純資産額の算定に 用いられた期末の普通株式の数 (千株)	6,098	6,121

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,607,129	1,976,474
売掛金	1,278,488	1,348,006
商品及び製品	138,342	156,084
仕掛品	3,962	8,205
原材料及び貯蔵品	107,254	116,326
前払費用	98,473	92,975
その他	94,041	119,366
貸倒引当金	△40	△27
流動資産合計	3,327,651	3,817,412
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,921,235	1,995,388
構築物	30,142	28,215
機械及び装置	424,185	478,829
車両運搬具	8,935	8,401
工具、器具及び備品	103,969	92,120
土地	1,965,002	2,006,971
リース資産	84,506	67,134
建設仮勘定	27,112	11,174
有形固定資産合計	4,565,089	4,688,237
無形固定資産		
ソフトウェア	43,339	32,692
リース資産	118,077	91,260
その他	4,414	4,414
無形固定資産合計	165,831	128,367
投資その他の資産		
投資有価証券	14,490	16,264
関係会社株式	88,382	21,505
繰延税金資産	87,817	98,292
敷金及び保証金	361,104	414,296
保険積立金	91,375	115,977
その他	87,590	144,145
貸倒引当金	△25,695	△41,645
投資その他の資産合計	705,063	768,836
固定資産合計	5,435,984	5,585,440
資産合計	8,763,635	9,402,853

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	412,561	415,711
短期借入金	1,300,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	96,550	172,024
リース債務	47,001	46,728
未払金	522,279	396,108
未払費用	141,875	168,532
未払法人税等	139,976	134,357
未払消費税等	8,530	21,025
前受金	4,030	4,780
預り金	10,562	10,959
前受収益	13,444	13,711
賞与引当金	49,221	58,555
流動負債合計	2,746,033	2,792,495
固定負債		
長期借入金	47,020	377,461
リース債務	178,289	138,676
退職給付引当金	108,912	123,834
長期未払金	158,593	158,593
その他	171,188	173,664
固定負債合計	664,004	972,230
負債合計	3,410,038	3,764,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,042,389	1,042,389
資本剰余金		
資本準備金	1,084,912	1,084,912
資本剰余金合計	1,084,912	1,084,912
利益剰余金		
利益準備金	8,150	8,150
その他利益剰余金		
別途積立金	1,734,000	1,734,000
繰越利益剰余金	1,749,611	1,994,211
利益剰余金合計	3,491,761	3,736,361
自己株式	△263,565	△224,798
株主資本合計	5,355,498	5,638,864
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,900	△736
評価・換算差額等合計	△1,900	△736
純資産合計	5,353,597	5,638,127
負債純資産合計	8,763,635	9,402,853

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	9,322,986	9,694,290
売上原価	3,718,855	3,900,650
売上総利益	5,604,131	5,793,639
販売費及び一般管理費	5,086,862	5,180,288
営業利益	517,268	613,351
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	1,807	900
その他	1,992	2,130
営業外収益合計	3,799	3,030
営業外費用		
支払利息	6,756	7,724
シンジケートローン手数料	2,510	2,500
為替差損	3,631	2,528
その他	194	612
営業外費用合計	13,093	13,365
経常利益	507,974	603,016
特別利益		
固定資産売却益	7,079	8,321
抱合せ株式消滅差益	—	80,525
投資有価証券売却益	38,290	—
特別利益合計	45,370	88,847
特別損失		
固定資産除却損	—	2,093
減損損失	93,846	17,751
店舗閉鎖損失	—	12,483
感染症関連損失	—	50,208
関係会社株式評価損	—	56,857
その他	9,921	1,765
特別損失合計	103,767	141,158
税引前当期純利益	449,576	550,705
法人税、住民税及び事業税	206,126	186,659
法人税等調整額	△24,207	△9,393
法人税等合計	181,919	177,266
当期純利益	267,657	373,439

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		自己株式		
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			利益剰余金合計	
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	1,042,389	1,084,912	1,084,912	8,150	1,734,000	1,610,900	3,353,050	△302,895	5,177,457
当期変動額									
剰余金の配当						△127,572	△127,572		△127,572
当期純利益						267,657	267,657		267,657
自己株式の取得								△37	△37
自己株式の処分						△1,374	△1,374	39,367	37,992
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	138,710	138,710	39,330	178,040
当期末残高	1,042,389	1,084,912	1,084,912	8,150	1,734,000	1,749,611	3,491,761	△263,565	5,355,498

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	35,427	35,427	5,212,885
当期変動額			
剰余金の配当			△127,572
当期純利益			267,657
自己株式の取得			△37
自己株式の処分			37,992
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△37,328	△37,328	△37,328
当期変動額合計	△37,328	△37,328	140,712
当期末残高	△1,900	△1,900	5,353,597

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	1,042,389	1,084,912	1,084,912	8,150	1,734,000	1,749,611	3,491,761	△263,565	5,355,498
当期変動額									
剰余金の配当						△128,069	△128,069		△128,069
当期純利益						373,439	373,439		373,439
自己株式の処分						△770	△770	38,766	37,995
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	244,600	244,600	38,766	283,366
当期末残高	1,042,389	1,084,912	1,084,912	8,150	1,734,000	1,994,211	3,736,361	△224,798	5,638,864

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△1,900	△1,900	5,353,597
当期変動額			
剰余金の配当			△128,069
当期純利益			373,439
自己株式の処分			37,995
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,164	1,164	1,164
当期変動額合計	1,164	1,164	284,530
当期末残高	△736	△736	5,638,127

(4) 個別財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計上の見積り)

1. 当事業年度

減損損失 17,751千円

2. 会計上の見積りの内容について財務諸表利用者の理解に資するその他の情報

連結注記表に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

5. その他

役員の変動

(1) 代表取締役の変動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の変動(2021年6月24日予定)

・退任予定取締役

取締役(社内) 中村 利徳

取締役(社外) 平澤 壽人